

議会だより

83

のとちょう

2026.8.1



消防団訓練大会



復興公営住宅（宇出津第1団地）起工式

議員報酬を月額4万円引き上げる
引き上げる条例を可決 2-3

常任委員会レポート 4-5

一般質問（10人が登壇） 6-15

管外視察レポート 15

主な議会活動 17

まちかどインタビュー

編集後記 18



能登町議会へようこそ



あばれ神輿

引き上げる条例を可決！ となる。

8年度一般会計予算総額を414億5,007万8千円とした。

主な補正予算

○総務費（2億2934万円）

- ・物価高騰対応ひまわりポイント付与事業にかかる補助金の追加
- ・地域コミュニティ施設等再建支援事業補助金の追加

○民生費（5224万円）

- ・障害福祉サービス等の報酬改定に伴うシステム改修費の追加
- ・令和6年度被災者見守り・相談支援等事業の精算に伴う国庫補助金の返還金の追加

○衛生費（359万円）

- ・能登三郷斎場の合併浄化槽及び多目的交流センター空調設備の修繕料の追加
- ・墓地公園内手洗い場の修繕料の追加

○農林水産業費（575万円）

- ・恋路ふれあい体験農園の借地返還に伴う倉庫等の解体工事費の追加

○商工費（9873万円）

- ・町キャッシュレス決済推進協議会への補助金の追加
- ・公衆トイレ建設などの遠島山公園再整備事業費の追加

○消防費（45万円）

- ・トレーラートイレ移動のためのけん引免許取得費等の追加

○教育費（1961万円）

- ・教育関係寄付金を活用した、小中学校への児童生徒提案型事業の補助金の追加
- ・柳田中学校体育館のトイレ改修工事費等の追加
- ・国指定重要文化財中谷家住宅保存修理事業にかかる補助金の追加

○災害復旧費（20億3136万円）

- ・松波小学校新築復旧工事令和8年度分の工事費等の追加
- ・上町公民館の災害復旧工事費等の追加
- ・能登自動車学校および恋路ロマンティックパークの災害復旧工事費等の追加

令和8年第4回能登町議会6月定例会議を6月8日から17日にかけて開会し、町長提出議案7件、諮問1件が提出された。議案は令和8年度の補正予算のほか条例改正や請負契約の締結の変更などであり、議案は常任委員会によりそれぞれ審査し、全議案を可決した。人事案件については、初日に採決し同意、

適任とした。
15日には10人の議員が町政全般について一般質問を行った。
また、17日に追加議案3件が上程され、いずれも原案を可決した。

議員報酬を月額4万円

平成28年以来、10年ぶりの改定

一般会計補正予算に24億4,107万8千円を追加し、令和

議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

改正の背景としては、令和7年12月定例会議で議員定数を14人から12人に削減することが決定されたことと、特別職報酬等審議委員会から幅広い年代層や多方面からの優秀な人材を確保するため一定程度増額することが妥当である、との見解が示されたことによるものである。

改正内容は議員報酬の月額を、議長を31万円から35万円に、副議長を28万円から32万円に、議員を26万円から30万円に引き上げるもので、いずれも4万円の増額となる。

本条例は公布の日から施行し、令和8年11月1日から適用される。

その他の主な議案

○請負契約の締結の変更 ・小浦漁港災害復旧工事

○農業委員会委員の任命について

濱高 靖子 氏（羽根）	河原 東洋史 氏（宮地）	井畠 網臣 氏（崎山）
赤崎 由美子 氏（瑞穂）	川畑 慎太郎 氏（曾又）	坂下 政浩 氏（鈴ヶ嶺）
影田 伸幸 氏（当目）	上野 朋子 氏（五郎左エ門分）	橋谷 久司 氏（立壁）
末次 芳幸 氏（行延）	鹿島 朋子 氏（立壁）	瀬爪 忠 氏（秋吉）

人権擁護委員候補者の推薦

紺谷 春美 氏（瑞穂）

追加議案

- 財産の取得 ・庁内ネットワーク更新用機器（㈱石川コンピュータ・センター）
- 財産の取得 ・能登町消防団松波分団 消防ポンプ車1台 長野ポンプ(㈱)七尾営業所
- 請負契約の締結 ・比那漁港災害復旧工事 宇佐美工業(㈱)北陸営業所

4月会議

令和8年第3回能登町議会4月会議を開会し、議案4件について原案可決とした。

○請負契約の締結

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| ・町道1級宇出津8号線道路災害復旧工事（3工区） | 鈴平建設(㈱) |
| ・白丸地区高台団地基盤整備工事 | (㈱)西中建設 |
| ・白丸地区復興公営住宅基盤整備工事 | (㈱)西中建設 |
| ・能登町立松波小学校新築工事
（令和7年度能登半島地震復旧事業） | 豊蔵・鼎・西中特定建設工事共同企業体 |

議員報酬の引き上げについて討論！

6月定例会議の最終日に、議案第69号 議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、志幸松栄議員が反対討論、田端雄市議員が賛成討論を行った。

議案第69号 議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

反対討論



志幸 松栄 議員

議員報酬を引き上げることは、議員のなり手不足解消になり得るものではなく、復興途中のこの時期において、ましてや被災後の町民のことを思うと、もってのほかであり、断固反対である。

賛成討論



田端 雄市 議員

今回の議員報酬引き上げは、特別職報酬等審議委員会の総合的な判断に基づく答申であり、これを否定することは将来の報酬引き上げや、後に続く後進の道を閉ざすことになる。

令和8年第4回6月会議の審議結果（賛否の分かれたもの）

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、— 議長は採決に参加しません。

結果可否	議案	議員名												
		松本 光雄	小浦 肇	馬場 等	田端 雄市	金七祐 太郎	南 正晴	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	鍛冶谷眞一
可決	議案第69号 議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	－	○	×	×	○	×	○

予
算
常
任
委
員
会

志幸 松栄（委員長）
向峠 茂人（副委員長）
（委員は議員全員）

問 まつなみキッズセン
ターの完成時期は。

開館予定は令和9年7月頃、夏休み前を予定している。

ひまわりポイント付
与事業の財源は国庫支
出金だが、今回の補正
予算では国庫支出金は
認められないのか。

国庫支出金である物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は令和7年度に実施事業への充当が決定しており、今回の追加計上分には使用していない。

ひまわりカードポイント付与事業の実績は。

1万2514名にポイントを付与した。住基人口で割り返すと91%である。

西谷啓治記念館は解体するのか。益谷秀次さんの銅像修理は。

答

収蔵されていたものは旧真脇小学校に運んであり、児童生徒の学習の場として活用するよう準備を進めている。像の修理費も含まれている。

サツマイモ加工場補助の内容は。

施設を整備するための補助である。

遠島山公園の再整備の内容は。

舗装の復旧や健康遊具の設置である。

一般コミュニティ助成事業、真脇区とは。

〔答〕 祭礼備品の修繕について申請があり、宝くじ助成事業として助成金が交付される。

教育費寄附金の内容は。

主なものは、24時間テレビ48から能登復興支援としての寄附金650万円である。

遠島山公園の今後の
コンセプトはあるのか。

非常に広大な敷地であり、今の再整備事業は西谷啓治記念館や郷土館、羽根万象美術館のあるエリアである。この平地のエリアを再整備して町民に散策を楽しんでいただく整備になる。

みんなの居場所支援
事業を詳しく示せ。

子育て支援を行うNP
○法人に委託し、不登校
児童生徒の居場所を開設
するものである。

総務産業 建設委員会

馬場 等（委員長）
小浦 肇（副委員長）
松本光雄 南 正晴
酒元法子 河田信彰
志幸松栄

議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について詳しく説明せよ。

能登町における議員報酬の額について、平成28年度以降改定が行われておらず、近年の社会経済情勢を反映していると言いたいと思われることから、令和8年4月30日に特別職報酬等審議委員会に議員報酬月額の見直しについて諮問し、同日答申をいただいた。

その内容は、令和7年第10回能登町議会12月定例会議において、議員定

数を現行の14人から2人減じ12人とする条例が可決されたこと、また、幅広い年代層や多方面からの優秀な人材を確保するためには、一定程度増額することが妥当であるとの見解が示された。議員報酬月額、議長31万円を35万円に、副議長28万円を32万円、議員26万円を30万円に改正すべきとの結論に至った。この条例は公布の日から施行し、令和8年11月1日から適用するものである。

本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例について、本社機能の移転というふうに表示されているが、本社機能の一部の移転というのは対象になるのか、ならないのか。

この条例は、具体的には、東京23区から地方へ、本社機能を移転して整備する事業者向けに固定資産税の減免等の特例措置を設けている。

一部移転については、規模、内容によって対象となるかどうか個別に判断、対応させていただく。

ポケモン・ウィズ・ユー財団からポケモンの遊具を寄付してくれるとなっているが、総額でいくらか。

ポケモン・ウィズ・ユー財団からは遊具の設置のみを行っていただく。施設内の内装の仕上げや空調設備等は町で整備をおこなない、3年間使用させていただき、その後財団で引きあげていくことになっている。

町では、3年後ポケモンに代わる遊具を町で設置し、施設の有効活用をしたいと考えている。



管内視察の様子（小木地区仮設店舗）



管内視察の様子（中瀬牧場）

教育厚生 委員会

向峠茂人（委員長）
小路政敏（副委員長）
田端雄市 金七祐太郎
市濱 等 鍛冶谷眞一

能登町心身障害医療費の助成に関する条例改正について、配偶者が扶養親族に算定できるようになり基準額が変更となるという認識か。

改正前は、本人の合計所得金額が1千万円以上の場合、配偶者を扶養親族等として所得制限の基準額に加算することはできなかった。

改正後は、本人の所得が1千万円以上でも、配偶者の合計所得金額が48万円以下の場合、扶養親族等に算定できるようになる。配偶者が加わることで扶養親族が増え、

受給資格者本人が助成対象になる可能性が高くなる。

宇出津病院の患者数と奥能登病院の進捗状況について。

患者数については、その年によって増減はあるものの入院、外来ともに昨年度より少し減少している。

奥能登病院については、県が「産科医の常駐しない」という提案をしたという状況である。



管内視察の様子（中谷家住宅）

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

6月定例会議の一般質問（15日）

問 窓口業務の改善取組みを問う

答 接遇研修会を開催し啓発している



まつもと みつお 議員
松本 光雄

〔問〕

接遇教育や地域事情、地区名など主要な地理情報は、教育されているのか。また、今後の窓口業務の改善取り組みを問う。

答 総務課長

窓口対応や接遇等の教育は、町職員全員が必須の研修会を受講している。一方、県外からの応援者や経験の浅い職員の中には、町内各地の詳細な土地勘がなく、実情を把握しきれない部分もあり、ご迷惑をかけている。これについては今後も継続して教育する。



接遇の風景（イメージ）

また、被災者支援受付は、4月より復興推進課内に被災者支援コールセンターを設置し、各種制度の取りこぼしが無いように努める。

問 耕作放棄地の活用を問う

答 個人所有耕作放棄地の介入は無理

〔問〕

耕作放棄地の解消に向け、フルミ栽培のパイロット事業を提案する。

〔問〕

フルミ栽培のパイロット事業の回答をイエスかノーか問う。

答 農林水産課長

農地は個人財産であり行政の一方的な介入は困難。町は現在、県やJ-Aと連携し、集落ごとの「10年後の耕作者中期計画」による既存農地の次世代継承を最優先としている。

〔問〕

昔から当たって砕けるというが、この提案をどのように考えるのか。

答 総務課長

フルミ栽培を調査した結果非常にリスクが高く、町として推し進めることは困難である。

なお、新たな事業創出の志を否定するものではなく、まずは議員自らの志と連携し、可能性や課題を検証されることが第一歩であると考えている。



かじや じんいち 議員
鍛冶谷 眞一

問 高齢者に気軽なスマホ教室を

答 現行教室の強化・拡充を検討

問 令和8年2月26日の県の発表では、高齢化率において珠洲市の55・3%に次いで、54・7%の県内2位の能登町でもスマホを持っていない人は多いと思う。

ただ、残念ながら持つてはいるが上手く使えない人が多く、そんな高齢者に「初歩的なことでも気軽に聞ける」、「忘れてもまた教えてもらえる」、「恥ずかしがらずに相談できる」、そんな「シニアに特化した」相談室の常設を提案、要望する。



気軽なスマホ相談 (イメージ)

答 総務課長

スマホ相談室の常設については、震災からの復旧・復興業務を最優先としたいため、当面は現在行っている公民館スマホ教室の周知強化や出前講座の充実に注力したいと考えている。

また、スマホ教室の回数、開催場所等の拡充についても検討を進めたい。

問 松波小学校新校舎の完成時期は

答 令和9年8月の竣工を目指す

問

学校の存在は地域にとって「灯台」、「希望の灯り」であると考えてる。

震災から2年半、自分たちが通っていた「学び舎」が外観だけになったのを見て、特に来年卒業する小学6年生は、そのことについてどう思っているのか気がかかる。

松波小学校の新築復旧事業について問う。

1点目は、校舎本体の建設工事は30億3160万円かかるという認識と、

有利な資金調達を行っているという理解で良いか。

2点目は、校舎の完成時期、使用開始の計画について問う。

3点目は、現時点での町内全部の小学校、中学校の統廃合計画について問う。

4点目は、小中一貫の

義務教育学校について考えたことはあるのか。

5点目は、「いじめ」、「不登校」についての現状と対策は。

答 教育長

1点目、2点目について、建設にかかる費用は現在30億3160万円です。計画しており、資金調達についても議員のお見込みのとおりである。竣工は令和9年8月下旬を予定。中東情勢の影響もあり、材料の高騰など、随時打ち合わせをしながら進める。

3点目について、

小中学校が令和7年度から能都中学校に統合。松波中学校は、令和8年度末で閉校、令和9年度から能都中学校に統合。柳田中学校は、今後の生徒数

を見ながら、生徒数が40人を切る段階で検討する。また、小学校については、完全複式となる学校が生じた場合、その時点で統合を検討する。

4点目については、義務教育学校の導入は、中

学生の発達段階における社会性の育成の観点から、

その設置を考えてはいない。しかし、教育課程上の

学びの連続性を大事にしており、今後、教育課程研究協議会を設置しながら、充実に図っていく。

5点目については、具体的な数字は公表していないが、毎月、各学校においての実態を把握している。いじめの重大事態はなく、不登校についても急激な増加はない。



しこう しょうらい 議員
志幸 松栄

問 ご当地ナンバーの要件緩和対応は

答 観光振興の機運醸成につながる



石川県ご当地ナンバー

⑤ 国は「ご当地ナンバー」拡大に向け、要件を拡大する方針と聞けるが、その内容について問う。
また、「奥能登ナンバー」を新たに作成することで、観光振興に大きく寄与するものと思うがどうか。さらに、奥能登地区2市2町の共同で取り組む考えを聞きたい。

答 ふるさと振興課長

ご当地ナンバーの要件緩和の内容は、登録車両の台数要件と、さらに図柄は寄附金有りのフルカラーに一本化、また交付時期を選択できるスケジュール設定が可能とのこと。

次に、観光振興に寄与した事例としては「富士山ナンバー」や「伊勢志摩ナンバー」が挙げられ、走る広告塔として観光を促進する効果は大なるものである、と聞き及んでいる。

答 町長

「奥能登ナンバー」では制度上難しいと思われるが、「能登ナンバー」であれば可能だと考える。しかし、いずれにせよ地域住民皆さんの意向が未知数なので調査する必要があると考える。

問 婚活の支援対策を問う

答 県や近隣市町等と連携し進めたい

⑥

人口減少、また少子化を回復するため、県は対策として大規模な婚活イベントを開催する方針だと新聞報道されていたが、当町としての対策を問う。

答 町長

平成26年度から実施された婚活各種支援対策は、支援員の高齢化や、なり手不足等の理由により令和8年3月をもって解散している。

民間調査では、現代社会において夫婦の出会いの場として、職場に続きマッチングアプリとなっている。マッチングアプリがきっかけで結婚された20代の方は全体の約29%強を占めており、県が運営するマッチングアプリサイト「あいきゅん」をぜひ利用されたい。
当町としても、県や近隣市町と連携し婚活事業を進めていきたい。



石川県マッチングアプリサイト「あいきゅん」

その他質問

⑦ 職員の窓口接遇の対応について、最近町民の問い合わせに対し、職員からの説明が分かりづらいと聞けるが、どのような指導を行っているのか。

答 総務課長

来庁された方々には適切な声かけや、親切丁寧な対応を心掛けるよう、所属長を通して改めて周知、また研修等により接遇対応の向上を推進していきたい。

さらに、経験の浅い職員には一人に任せず、中堅社員や上司がフォローし適切に接遇対応を進めていきたい。



みなみ まさはる 議員

問 路面流雪溝の復旧計画を聞く

答 早期に入札を執行できるよう準備している

問

令和6年の地震と豪雨被害により野田、石井地区に設けられている路面流雪溝は冬季間の流水が不足していて、雪が捨てきれていない。対策と併せて、水源である石井用水の復旧状況を聞く。

答 農林水産課長

地震によって、取水施設から石井地区までの2.5キロが壊滅的な被害を受けたため、石井用水については、営農再開を優先して大型ポンプを設置し水の確保をしている。県道の水路トンネルの土砂



通行止めとなっている1級笹川宇出津1号線（久田地内）

除去及び一部の敷設替え工事は早期に再入札ができるよう準備を進めており、取水施設の復旧については河川復旧工事との整合性が必要であり、関係機関と連携し調整している。流雪溝については、奥能登土木総合事務所と協議の結果、石井用水の施設復旧が完了するまでの間、冬季間でも仮設ポンプを稼働させる等何らかの対策を講じたいと前向きな回答をもらっている。

問 町道3路線の復旧見込みを聞く

答 今年度中の本復旧着手を目指す

問

通行止めが続いている町道鈴ヶ嶺2号線、町道1級笹川宇出津1号線久田地内、町道石井鈴ヶ嶺1号線鴨川地内の復旧見込みを示せ。

答 建設水道課長

鈴ヶ嶺地内及び久田地内の2か所は地震後に道路啓開により一旦は通行を確保したが、豪雨により崩壊規模が拡大し、再



道の駅桜峠の仮設トイレ

度の道路啓開が難しくなっている。鴨川地内は地震直後から通れない状況である。鈴ヶ嶺及び久田地内については測量及び地質調査が完了し、8月末の設計完了を目指している。鴨川地内は12月中の設計完了を目指している。重要な生活道路であることから、設計完了した箇所から順次発注して行きたい。

その他質問

⑤道の駅桜峠、駒渡ポケットパークのトイレが仮設のままである。観光にも影響があると思うが復旧計画は。

答 建設水道課長

管理者の県に確認したところ、道の駅桜峠はリニューアル事業に合わせ、トイレの配置検討も含めた設計を進めている。駒渡は調査設計に着手しており、設計完了次第工事着手予定と聞いている。復旧時期の見込みについては、現段階では示せない。

⑥免許返納後のシニアカー購入者に扶助を考えるとないか。

答 町長

介護保険制度上では、要介護2以上で支援の対象になる。提案の補助については現時点では考えていないが、支援の在り方について検討する。



たばた ゆういち 議員
田端 雄市

問 一人も残さず、住まいの確保を

答 寄り添う支援で完結させる

問

復興公営住宅の計画もでき、被災者の行先も明らかになってきた。それでも最後の一人まで、住まいの確保を実現することとは、行政の至上命題である。復興公営住宅を希望する方、在宅で修理を希望している方などそれぞれ、目途をつけられている。それでも迷っている方もおられることに注視して、現段階の計画を進め、進捗を見極めながら、残らず住まいの確保に努められたい。

答 復興推進課長

現段階で、次の住まいの確保について、未確定の部分は、復興住宅入居対象外の方、仮設住宅等の入居者の27世帯、在宅者で半壊以上の方が84世帯などである。今後、電話による再建サポートや社協や職員による訪問支援、さらに被災者支援アドバイザーによるきめ細やかに寄り添った支援を行っていく。

問 学校施設をコミュニティの拠点に生かせ

答 現在、各種団体に開放している状況

問

歴史の背景もあり、学校施設は、地域の共有財産とはなっていない。時代と状況が変わり、災害拠点として見直されている。今後、さらに進め、多世代交流の拠点として、捉えなおし地域コミュニティ醸成の場として、計画するべきと提案する。

答 教育委員会事務局長

NPOやボランティアなどに対し、学校施設の常時の活動拠点は困難であるが、現在、申し出があれば、体育館を中心に各種団体などに開放、利用出来るようにしている。

その他質問

⑤物価高の状況にあつて、町が事業所や従業員を支援しているという姿勢を打ち出すことが大事な局面である。一般事業所においては、毎年の賃金引き上げに町内事業所がついていけるのか、が問われている。さらに賃金格差が広がることを懸念する。賃金引き上げの事業所支援を求める。介護従事者の支援は、他産業との賃金格差が大きく、様々な支援があるにも関わらず、その差が埋まらない。人材の流出を止める支援を求める。

答 町長

人材確保や地域経済の循環という観点からも賃上げの好循環を創出することが喫緊の課題という認識はある。現在は、県に開設している賃上げ事業者センターや国の事業改善助成金などの案内をしている。

介護従事者には、現在の町の支援事業の周知を徹底し、さらに今後の必要な支援を検討していく。



寄り添う生活再建支援（イメージ）



かわだ のぶあき 河田 信彰 議員

問 「石川さゆり」さんでにぎわい創出を

答 非常に有効で前向きに検討

問

現時点の宇出津港湾エリアにおける観光客誘致とにぎわい創出を図る計画を示せ、また石川さゆりさんの代表曲「能登半島」が流れるモニュメントを宇出津新港に、「弥栄ヤッサイ」が流れるモニュメントを大屋根広場前の宇出津港に設置してはどうか。

答 ふるさと振興課長

大屋根広場を含む宇出津港湾エリアは、町全体のにぎわいを創出する上で欠かせないエリアである。令和10年度改定予定の能登町観光マスタープランには、宇出津港湾エリアにおける、にぎわい創出計画等を盛り込みたいと考えている。

答 町長

石川さゆりさんの歌が流れるモニュメントを宇出津新港と宇出津港に設置してはということだが、青森県龍飛崎の石川さゆりさんの歌のモニュメントや、福井県三方五湖の五木ひろしさんのモニュメントは、いずれも好評を博していると聞いている。

石川さゆりさんは、誰もが知る名曲「能登半島」に加え、昨年、宇出津あばれ祭の掛け声で盛り上がる「弥栄ヤッサイ」を発表したところで、この提案が実現できれば、新たな観光ルートを生み出す一つとなり得るものと思っています。

ただし、本人の意向が尊重されるものであり、クリアすべき課題もあると考えられ、本人に相談をしたいと思っている。宇出津新港、大屋根広場の両方もしくはいずれかには設置したいと考えている。

問 オンライン診療を全町に展開を

答 拠点型も含め先進地事例を検討

問

町内におけるオンライン診療の利用状況などをもどの程度把握しているのか、また医療施設のない地域の公民館や仮設住宅の集会所をオンライン診療の拠点として開放するなど、オンライン診療サービスの実現の可能性について問う。

答 宇出津総合病院事務局長

県の調査では、令和6年7月から令和7年9月までの利用実績は596件、その内、施設利用が564件、個人宅利用が32件。個人宅利用が伸び悩んでいる要因は、デマンドタクシーで通院の利便性が確保されていることが一因と考える。

また医療機関側としては、機器の設置など事前準備にコストを要し、それに対する診療報酬が安価であるという構造的な課題がある。

本町のオンライン診療は、個人宅へ看護師を派遣する、あるいは施設等の看護師が機器の設置や

操作を行う体制を取っており、宇出津病院において体制が整備される場合も、同様の形態が想定される。

答 町長

議員が提案する公民館や仮設住宅の集会所をオンライン診療の拠点として活用するという点については、医療情報というプライバシーが大きな課題であるが、拠点型オンライン診療の可能性も含め、先進地の事例や国、県の動向を注視しながら検討を重ねていく。

また議員ご指摘の、オンライン診療の利便性については、処方までが一体的に行われることなどが重要であると認識している。

町としては、各医療機関の主體的な取組を尊重し、必要に応じて情報共有などの面で側面的な支援に努めたいと考えており、薬局との連携については、今後よりよいサービスが展開されるものと期待している。

問 DX推進取組み状況を問う

答 計画どおりで省人化に貢献



おうら 小浦 はじめ 議員

問

情報システム標準化と共有化の進捗は。

答 総務課長

住民基本台帳や戸籍など、基幹20業務の全国標準システムへの移行は、令和8年3月9日をもって無事完了した。これにより移行達成率は100%となり、計画通り業務の省人化・効率化に大きく貢献している。

問

テレワーク・モバイル端末の導入状況と効率改善効果は。

答 総務課長

現在、庁舎外からタブレットやスマートフォンを用いて、安全かつ迅速に内部システムへ接続できるモバイル環境の整備を進めている。

令和9年度中の運用開始を目指しており、本システムの導入により、業務の迅速化や災害等の緊急時対応の円滑化が図られる。

出先機関や外出中の職員との連携が強化され、住民サービスの向上とより効率的で、質の高い行政運営につながるものと考えている。

問

AIシステム等による業務効率化の検討結果は。

答 総務課長

令和8年1月に「AI議事録生成システム」および「行政用生成AIシステム」を全庁に導入。

導入効果の試算としては、全庁で年間25,600時間の業務工数が削減される見込みで、これを時間当たりのコスト（最低賃金1,054円）に換算すると、年間約2,690万円の経費削減効果を発揮するものと試算している。



庁舎外からシステムへのアクセス（イメージ）

問 クロスポート再建の進捗を問う

答 複数の再建案を検討中

問

3月議会で「元の場所ですべて元をしたい」の答弁であったがその後の進捗は。

答 町長

現在、複数の案を検討中で、3月議会の答弁どおり元の場所に再建する思いで進めている。既に土地は取得済みで、建設の主体を町か、一般社団

法人能登町定住促進協議会にするのか、また、財源の調達方法や施設にどのような機能を持たせるのか、慎重に検討している。

いずれにしても、多数の人々が集える空間の確保やワークキングスペースなど、整備方法が固まり次第、議会に説明する。



AIシステムの活用（イメージ）



ば 馬場 ひとし 議員

問 分娩機能を導入しない県の考えは

答 非常に重く受け止めている

問

奥能登公立4病院機能検討委員会で統合病院には分娩機能を導入しないという県の考え方が示された。地域医療を預かる立場として、統合病院に分娩機能を持たせないとする県の考え方を町長はどのように受け止めているか。

答 町長

県から新病院に分娩機能を導入しないという方針が示されたことについては、非常に重く受け止めている。

周産期医療は地域住民の安心な暮らしを支える重要な医療機能であり、特に若い世代の定住や移住にも大きく関わる課題である。出産を理由に若い世代が地域を離れるような事態は、何としても避けなければならない。そのため、町としては、引き続き県に対し新病院の分娩機能の導入に向けた継続的な検討をはじめ、医師や助産婦などの医療人材の確保、さらには広域的な支援体制の充実を要望していく。



新病院の分娩機能の有無は重要な問題 (イメージ)

問 A-デマンドタクシーの導入を問う

答 利便性の向上を目的とする

問

能登町ではデマンドタクシー事業が定着し、利用者も増加している。新たに、A-デマンドタクシーを導入する理由と目的は何か。また、利用者向けの説明会やスマートフォン操作を含めた講習会の実施予定はあるか。

答 企画財政課長

新たに、A-デマンドタクシーを導入することにより、運行ルートの最適化や乗降場所を増やすことにより利便性を向上させ、さらなる利用者を増やすことが目的である。また、宇出津地区内でも利用できるようなほか、宇出津病院以外からでも乗って帰れるようになる。安心してご利用いただけるよう各地区での説明会を実施して、ご理解を得ていきたいと思っている。

その他質問

問 町として、地域交通安全活動の公共性及び必要性をどのように考えているか。また、能登町交通安全協会への補助金額の増額を含めた見直しを考えているか。

答 総務課長

能登町交通安全協会の活動は、高齢者事故防止、通学路安全啓発、見守り活動など、地域全体の公益に資する重要な活動であると認識している。特に震災後、道路損傷や交通インフラの脆弱化により、交通安全対策の重要性はかつてないほど高まっていると考える。補助金については、事業内容を精査したうえで検討したい。また、補助金以外に町で協力できるものは、今後も協力したい。



さげもと のりこ 議員
酒元 法子

問 学童保育の運営状況を問う

答 震災前と、おおむね同様の体制維持

問

学童保育の運営状況について問う。学童保育の利用者の状況について、震災前と後での変化を町は実態把握できているのか。

能登町には現在幾つの学童保育施設があり、何名の児童が通っているのか。

答 健康福祉課長

当町の放課後児童クラブは各小学校下に設置されており、町直営が2クラブ、社会福祉協議会委託が1クラブ、民間委託が2クラブの合計5クラブがある。

震災前後の状況は、4

問

不登校児童はどれくらいいるのか。町は把握しているのか。

不登校の原因はどのようなものがあるのか。震災をきっかけとした様々な変化に今苦しんでいる保護者、児童に、町として具体的な対策、今後考えられる施策について問う。

答 教育委員会事務局長

不登校の状況は公表していない。ただし、毎月、各学校での実態調査をしており、不登校の急激な増加はない。

不登校となる要因は、心理的要因、環境的要因など、子供たちによって様々である。支援を必要としている不登校の子供たち、そして、同じように悩まれている保護者を

問 不登校の要因と対策を問う

その他質問

支援するなど、一人一人、家庭ごとに適切な対応に努めていく。

答 町長

町では、こども家庭センターによるアンケートや、子ども・子育て支援事業計画策定時にニーズ調査を行い、生活再建のめどが立たない家庭や、子供のメンタル面での不安、遊び場が減ったなど、多様な支援の必要性を認識している。

こども家庭センターによる相談窓口の周知や、関係機関と連携した個別対応を行っている。また、経済的負担軽減を目的に、保育料や学校給食費無償化を実施している。

⑤震災後、空き家での盗難事件が後を絶たないが、町内に何か所、何台の防犯カメラが設置され、設置方針や設置に係る経費、問題点について問う。

答 総務課長

震災前は珠洲市、能登町での犯罪件数は年間50件程度が、震災後の令和7年度では122件、令和8年度は5月末までに40件に達している。そのうち窃盗が約8割と、非常に多くの窃盗犯罪が増えている。

町管理の防犯カメラは、平成29年度より町内で36基を各公共施設に設置している。

経費は、平成29年度の設置当時、1台当たりの工事費は約50万円であり、月々の電気代は1台当たり約500円となっている。

問題点等については、プライバシーへの配慮や、撮影画像は一定期間経過後、上書き消去を行う対策が必要である。



きんしち ゆうたろう 議員
金七 祐太郎 議員

問 能登駅伝に対する町の考えは

答 能登再建の希望を与える

問

能登駅伝の実現性が、帯びてくると被災された能登の住民の背中をスポーツの力で押す。また、本町の宿泊施設の復旧や生業再建などにも、勢いをつける、全ての復興の後押しにもなり、能登の創造的復興に寄与するもの考える。

答 町長

選手が懸命にたすきをつないでいく姿は、必ず感動を呼び、能登の再建の希望を与えることになる。まさにそれがスポーツの力だと思っている。能登駅伝は、能登が一つとなるビッグプロジェクトであり、創造的復興を成す起爆剤になる。

『全国町村議会議長会表彰』および『石川県知事表彰』を受賞!

令和8年4月14日に石川県町村議会議長会『第78回定期総会』が開催され、金七議員が15年以上在職者として全国町村議会議長会表彰を、市濱議長、南議員、小路議員、酒元議員が5期以上在職者として石川県知事表彰をそれぞれ受賞しました。



表彰を受ける金七議員（KKRホテル金沢）

管外視察レポート

北海道勇払郡厚真町 令和8年6月24日(水)～6月26日(金)

教育厚生常任委員会 委員長 向峠 茂人

今回は、平成30年北海道胆振東部地震の震災対応をふまえた、子ども施策を中心とした内容の視察研修を行った。

関係施設がセットになって立地しており、住民目線で利用しやすい環境であること、町全体が「つながっている」イメージであり、施策の方向性が一貫しており関係分野の連携が上手く機能していると感じた。

復興途上にある能登町において、大変参考になる視察内容であったため、今後の当町教育厚生分野の施策において検討、活用していきたい。



管外視察の様子（厚真町放課後子どもセンター）

視察受入れ

令和8年5月19日（火）茨城県東茨城郡茨城町議会の一行が行政視察研修に訪れた。

能登半島地震、奥能登豪雨災害の被害状況、復旧に向けた取り組みや教育現場においての震災対応について、町職員が説明し、松波小学校仮設校舎を見学した。現地視察には、市濱議長が同行した。



現地視察の様子（松波小学校仮設校舎）



行政視察に訪れた茨城町議会の一行

令和8年6月23日（火）長野県上高井郡小布施町議会の一行が行政視察研修に訪れた。

能登半島地震・奥能登豪雨災害からの教育の復興に向けた取り組みについて、教育長が説明し、松波小学校仮設校舎を見学した。現地視察には、市濱議長が同行した。



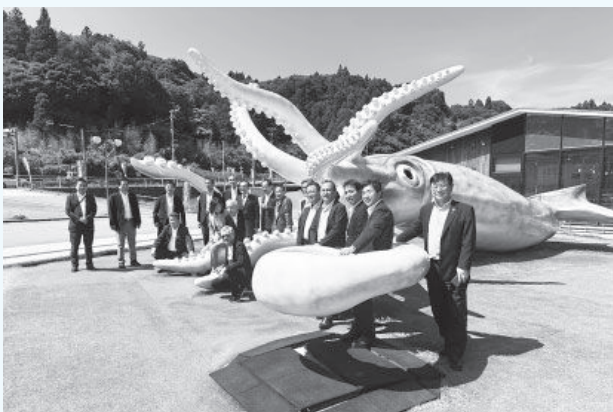
現地視察の様子（松波小学校仮設校舎）



行政視察に訪れた小布施町議会の一行

令和8年6月30日（火）茨城県市長会の一行が行政視察研修に訪れた。

能登半島地震、奥能登豪雨災害の被害状況、復旧に向けた取り組みについて、町職員が説明し、宇出津港の災害復旧工事や白丸公民館などを見学した。現地視察には、市濱議長が同行した。



行政視察に訪れた茨城県市長会の一行



講義研修受講中の様子

4月から6月の主な議会活動

4月14日 石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式及び

知事との意見交換会（KKRホテル金沢）

4月21日 広報編集特別委員会

4月23日 議会運営委員会・議員全員協議会・第3回能登町議会4月会議

5月11日 能登地区町議会連絡会総会（能登町）

5月15日 奥能登市町議会議長連絡協議会定期総会（輪島市）

5月19日 茨城県茨城町議会行政視察受け入れ

5月26日 奥能登市町議会議長連絡協議会要望活動（東京都）

5月26日 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都・27日まで）

5月28日 議会運営委員会

6月2日 のと里山空港利用促進議員連盟理事会・総会（県議会庁舎）

6月3日 議員全員協議会

6月8日 第4回能登町議会6月定例会議（議案上程）

6月9日 総務産業建設常任委員会、教育厚生常任委員会

6月10日 予算常任委員会、総務産業建設常任委員会

6月15日 第4回能登町議会6月定例会議（一般質問）・

議会運営委員会

6月17日 議員全員協議会、第4回能登町議会6月定例会議（採決）、

議会運営委員会

6月23日 長野県小布施町議会行政視察受け入れ

6月24日 教育厚生常任委員会管外視察（北海道厚真町・26日まで）

6月30日 茨城県市長会行政視察受け入れ

令和8年出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 公…他の公務あり 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名	松本 光雄	小浦 肇	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	南 正晴	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	鍛冶谷 眞一
4月21日	広報編集特別委員会		一	○	○	○	一	○	一	○	一	一	○	一	一
4月23日	議会運営委員会		一	一	○	○	一	一	オ	一	一	○	○	○	○
4月23日	議員全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4月23日	4月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月28日	議会運営委員会		一	一	○	○	一	一	オ	一	一	○	○	○	○
6月3日	議員全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月8日	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月9日	教育厚生常任委員会		一	一	一	○	○	一	○	○	一	一	○	一	○
6月9日	総務産業建設常任委員会		○	○	○	一	一	○	一	一	○	○	一	○	一
6月10日	予算常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月10日	総務産業建設常任委員会		○	○	○	一	一	○	一	一	○	○	一	○	一
6月15日	議会運営委員会		一	一	○	○	一	一	オ	一	一	○	欠	○	○
6月15日	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
6月17日	議員全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月17日	6月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月17日	議会運営委員会		一	一	○	○	一	一	オ	一	一	○	○	○	○

まちかど

インタビュー

今回のまちかどインタビューは、J A内浦町組合長からのご紹介で、地域を元気にしている農業移住者の大山具範さん、直美さんご夫妻にお話を伺いました。

（インタビュー）

小路政敏

◆能登町に移住したきっかけは？

私たちは8年前、神戸市で就農しました。経営を続ける中で、規模を広



農業移住者の大山 直美さん

「能登町で描く未来」

げるためにはもっと農業に適した環境が必要だと考えるようになりました。そんな時に出会ったのが能登町です。豊かな自然や神秘的な景色に魅力を感じ、家・水・畑といった農業に必要な条件がそろっていたことから移住を決意しました。

◆能登町の魅力は？

移住して感じたのは、能登町には「ダイヤの原石」のような魅力がたくさんあるということです。豊かな自然や世界農業遺産に認定された里山里海など、多くの魅力があり、

これからさらに発展していく可能性を持った町だと思っています。

◆現在の状況は？

能登半島地震の後、一度は能登町を離れることも考えました。でも、NHKの全国放送で「これからも能登町で農業を続けます」と話したこと

で決意が固まりました。震災直後は、1月下旬からボランティアの皆さんへ野菜を提供し、炊き出しをサポートしました。現在は約1町歩の農地を管理し、耕作放棄地や遊休農地の活用にも取り組んでいます。

◆将来やりたいことは？

将来は農業を学べる場所をつくりたいと思っています。里山を守るためには草刈りだけではなく、農地を農地として守り続けることが大切です。農業に興味のある方が、無理なく技術や知識を学べる環境をつくっていき

いです。

◆自分たちに何ができるか？

私たちは農業を通して培ってきた経験を地域のために活かしていきたいと思っています。能登町は私たちを温かく受け入れてくれた大切な場所です。その感謝を忘れず、復興や地域づくりにも貢献していきたいと思っています。能登町を選んで良かったと思うように、そして「移住者が地域を元気にしてくれた」と言っていただけのように、これからも挑戦を続けていきます。



次の定例会議は9月3日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、町公式 LINE でお知らせしています。

編集後記

今回インタビューをお願いした大山さんの農園には、いろいろな方が農業の相談にいられていると聞いています。親切で丁寧な対応が好評で、地域にも自然と溶け込んでいます。能登町のために、これまで培ってきた経験を活かし、今後ますます活躍されることを期待しています。

（小路政敏）

広報編集

特別委員会

委員長 小浦 肇
副委員長 小路 政敏
委員 馬場 等
委員 田端 雄市
委員 南 正晴
委員 向峠 茂人